

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(令和2年度事業分)

令和3年8月

枚方市教育委員会

目 次

1. 点検及び評価の趣旨	1
2. 点検及び評価の方法	
(1) 点検及び評価の対象	1
(2) 点検及び評価手順	1
(3) 評価基準	2
3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）	
(1) 評価結果の内訳	3
(2) 点検評価の結果	5
4. 学識経験者の知見の活用	5
5. 点検評価員による総評	6
6. 令和2年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価	
基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実	7
基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	17
基本方策3 教職員の資質と指導力の向上	29
基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	32
基本方策5 幼児教育の充実	36
基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進	40
基本方策7 学びのセーフティネットの構築	42
基本方策8 学びを支える教育環境の充実	53
基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実	58
基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実	65
7. 枚方市教育委員会の令和2年度の活動の概要	
(1) 令和2年度教育委員会定例会・臨時会について	74
(2) 令和2年度教育委員会協議会について	74
(3) 令和2年度教育委員会の活動状況	76

令和3年度 教育に関する事務の点検及び評価

1. 点検及び評価の趣旨

「教育に関する事務の点検及び評価」は、効果的に教育行政を推進し、及び市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行うものです。今般、その結果を取りまとめましたので、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

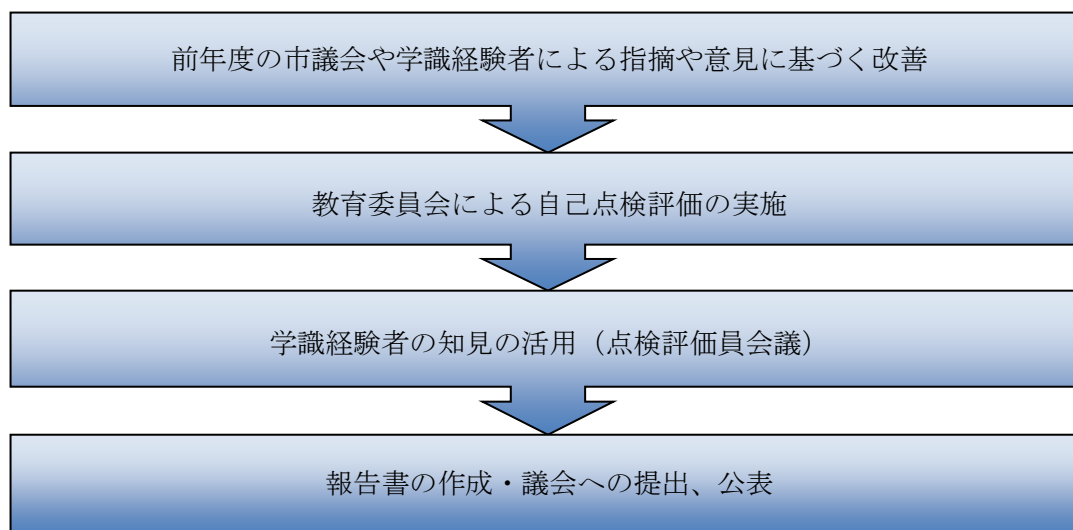
2. 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

本市教育振興基本計画に掲げる10の基本方策を具体化するための64の主要事業

(2) 点検及び評価手順

令和3年度の点検及び評価は、次の手順で実施します。



(3) 評価基準

令和2年度の主要事業を「達成度」と「達成度の推移」の評価基準により点検評価を行います。

- ・達成度：「実績値÷目標値×100」（※①）により年度ごと、主要事業ごとに算定します。
- ・達成度の推移：前年度（※②）からの推移に応じ、主要事業ごとに次の矢印を付記し、評価を区分しています。

達成度の推移	内 容
↗	・前年度より高い数値となった場合
→	・前年度と同じ数値だった場合
↘	・前年度より低い数値となった場合

※①指標のめざすべき方向が「↓」となっている場合は、「目標÷実績×100」の算定式により達成度を算定します。

※②事業又は指標の性質に応じて前年度以外の過去の達成度に基づき、評価区分を定めることがあります。

[参考]前年度の評価区分

評価区分	達成割合 (実績/目標)	内 容	評価区分 の推移	内 容
高い	100%以上	・事業が完了した場合 ・実績値が目標値以上となった場合	↗	・前年度の評価区分より高い区分となった場合
やや高い	80%以上 100%未満	・実績値と目標値が概ね同様の 場合	→	・前年度の評価区分と 同じ区分だった場合
やや低い	50%以上 80%未満	・課題があり、実績値が目標値 よりやや低い場合	↘	・前年度の評価区分より 低い区分となった場合
低い	50%未満	・課題が多く、実績値が目標値 より低い場合		

3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）

(1) 評価結果の内訳

基本方策	主要事業	達成度	達成度の推移
基本方策 1	① 小中一貫教育推進事業	評価不能	— ※①
	② 学校園活性化事業	評価不能	— ※①
	③ 枚方市少人数学級充実事業	108.80%	↑
	④ 学校 I C T 機器等整備業務	114.94%	↑
	⑤ 多文化共生教育研究事業	59.68%	↓
	⑥ 英語教育推進事業	98.92%	— ※②
	⑦ 読書活動推進事業	評価不能	— ※①
	⑧ 進路指導等事務	評価不能	— ※①
	⑨ 学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	100.00%	達成継続（↓）
基本方策 2	① 人権教育推進研究事業	95.15%	↓
	② 多文化共生教育研究事業【再掲】		
	③ 帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	100.00%	— ※③
	④ 小中一貫教育推進事業【再掲】		
	⑤ 部活動指導協力者派遣事業	84.43%	↑
	⑥ 学校支援社会人等指導者活用事業	58.22%	↓
	⑦ 学校給食事業	80.22%	↑
	⑧ 学校給食における地元農産物利用促進事業	87.63%	↑
	⑨ 食物アレルギー対応推進事業	100.00%	達成継続（→）
	⑩ 学校健康管理事業	101.73%	達成継続（↓）
	⑪ 健康診断事業	99.92%	↑
	⑫ 中学校給食充実事業	67.60%	↑
	⑬ 文化財啓発普及事業	21.95%	↓
	⑭ 野外活動センター利用促進事業	68.00%	↑
基本方策 3	① 枚方市教職員育成事業	92.45%	↓
	② 授業の達人養成・教科研究事業	97.30%	↑
	③ 学校園活性化事業【再掲】		
基本方策 4	① 支援教育推進事業	64.46%	↓
	② 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	116.13%	達成継続（↓）
	③ 枚方市教職員育成事業【再掲】		
	④ 幼児支援教育推進事業	100.00%	達成継続（→）
基本方策 5	① 幼児教育充実事業	42.86%	— ※③
	② 学校園活性化事業【再掲】		
	③ 学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】		
	④ 幼稚園保護者支援充実事業	100.00%	達成継続（→）
	⑤ 市立幼稚園における3歳児保育実施事業	88.00%	↓
基本方策 6	① コミュニティ・スクール推進事業	89.00%	↓
基本方策 7	① 小学校安全監視事業	100.00%	達成継続（→）
	② 通学路等安全対策事業	100.00%	↑
	③ 小中学校安全対策事業	評価不能	— ※①、③
	④ 生徒指導充実事業	466.67%	達成継続（↑）
	⑤ いじめ問題対策事業	98.18%	↑
	⑥ スクールアドバイザー派遣事業	100.00%	達成継続（→）
	⑦ 教育相談事業	101.36%	↑
	⑧ 「心の教室相談員」配置事業	94.95%	↓

	⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	92.11%	↑
	⑩	不登校児童・生徒支援事業	83.58%	↓
	⑪	適応指導教室事業	100.00%	↑
基本方策 8	①	学校園施設維持補修事業	117.02%	達成継続 (↓)
	②	学校施設整備事業	100.00%	達成継続 (→)
	③	学校規模等適正化事業	100.00%	↑
	④	学校 I C T 機器等整備業務【再掲】		
	⑤	校務の情報化推進事業	66.80%	↓
	⑥	学校給食事業【再掲】		
	⑦	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	100.00%	↑
基本方策 9	①	社会教育活動推進事業	109.38%	↑
	②	生涯学習事業	64.99%	— ※③
	③	図書館資料購入事務	119.84%	達成継続 (↑)
	④	香里ヶ丘図書館建替事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑤	分館・分室巡回業務	100.00%	達成継続 (→)
	⑥	中央図書館運営事業	79.15%	↓
	⑦	香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場運営事業	73.64%	— ※③
	⑧	コンピュータシステム運営事業	124.98%	↑
	⑨	読書活動推進事業【再掲】		
基本方策 10	①	文化財啓発普及事業【再掲】		
	②	野外活動センター利用促進事業【再掲】		
	③	文化芸術創造拠点形成事業	78.85%	— ※③
	④	文化財保護管理事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑤	市指定文化財補助事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑦	市史編さん年報発行事務	69.09%	↓
	⑧	各種スポーツ大会等開催事業	23.28%	↓
	⑨	スポーツ推進事業	50.60%	↓
	⑩	総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）	評価不能	— ※①
	⑪	留守家庭児童会室運営事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑫	枚方子どもいきいき広場補助事業	評価不能	— ※①

※① 令和2年度の点検評価の実績測定が行えなかったため、評価不能としています。

※② 令和元年度の点検評価の実績測定が行えなかったため、評価不能としています。

※③ 令和2年度新規事業もしくは指標（実績値の内容）の変更を行ったため、達成度の推移の測定を行うことができず、評価不能としています。

(2) 点検評価の結果

令和2年度の主要事業を評価基準により点検評価を行った結果は次のとおりです。

達成度	主要事業数	達成度の推移	主要事業数
100%以上	28 件	↗	20 (2) 件
80%以上 100%未満	14 件	→	12 (12) 件
50%以上 80%未満	12 件	↘	19 (4) 件
50%未満	3 件		
評価不能	7 件	評価不能	13 件
合 計	64 件	合 計	64 (18) 件

※カッコ内の数字は、目標達成を継続している主要事業の前年度からの推移を内数で示しています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが行った点検及び評価の結果について、次の学識経験者3人を点検評価員として委嘱し、指摘や意見をいただきました。

- 委員長 和田 良彦 (大阪教育大学 副学長)
- 委員 浦嶋 敏之 (関西外国語大学 教授)
- 委員 木村 典嗣 (税理士)

<点検評価員会議>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、枚方市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、3 回の会議を開催します。

点検評価員会議	開催日	案件名
第 1 回	令和 3 年 7 月 8 日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書案の概要及び評価基準等の見直し内容について 2. 前年度の点検評価員会議における改善意見への対応について 3. その他
第 2 回	令和 3 年 7 月 29 日	1. 点検評価員からの質問・意見について 2. その他
第 3 回	令和 3 年 8 月 16 日	1. 点検評価員からの質問・意見について 2. 点検評価員による基本方策ごとの評価について 3. 点検評価員による総評と報告書のまとめについて 4. その他

5. 点検評価員による総評

本点検評価員会議は、枚方市教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」の結果について「適正」とする。以下にその理由を述べる。

本会議では、点検及び評価を行うに当たり、令和 2 年に見直しを行った枚方市教育振興基本計画の基本方策に基づく各事業について、ヒアリング等を行った。

その結果、令和 2 年度主要事業については、5 つの主要事業を追加するなど、継続して幅広く事業に取り組んでいること、また、事業指標について、事業の達成度をより適切に反映できるものへ見直しを行うなど、昨年度の指摘を踏まえた改善や内容の充実が図られていることが確認できたことから「適正」と判断した。

評価基準については、事業の実績内容に見合う表記となるよう記述の見直しや、【指標のめざすべき方向】の項目を新たに設けたことで、より市民に分かりやすいものになったと考える。

令和元年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業が多く見受けられた。一部の事業で達成度が評価不能となっているものの、様々な工夫により事業に取り組まれており、全体として成果が表れつつあるように感じられる。今後とも、こうした社会状況下においても、「新しい生活様式」を踏まえ、オンラインによる取組みを推進するなど、市民のニーズに応えるための事業の在り方について検討していただきたい。また、事業指標としている実績値データの測定ができず、達成度が評価不能となった事業の評価方法についても、あらかじめ対応を検討しておき、次年度へ活用する仕組みづくりが必要であると考えている。

点検及び評価については、基本方策に基づく各事業に対する意見を踏まえ、年々充実が図られており、効果的に PDCA サイクルが機能していると考えられるため、引き続き、各事業のより効果的な取組みや事業指標の見直し等について要望する。

令和 3 年度も、きめ細かな事業展開により、枚方市教育行政の更なる質的向上が図られることを期待する。

6. 令和2年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続^①を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります^②。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します^③。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します^④。

諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します^⑥。また、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します^⑧。

さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます^⑨。

主要事業の状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課 学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	40,426		
概要		実績				
<p>○学力向上の取組</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組を推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。</p> <p>◆教科会・学年会における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取組</p> <p>◆各小中学校で、今まで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組を推進する。</p>		<p>○学力向上の取組</p> <p>◆全中学校区に学力に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取組を推進した。</p> <p>◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図った。</p> <p>○体力向上の取組</p> <p>◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践した。また研究指定校において、大阪体育大学と連携し、体力向上に向けた取組を行った。</p>				
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
<p>(実績値の内容)</p> <p>全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率</p>		実績値 (%)	[小学校] 国語A: 69.00 国語B: 53.00 算数A: 64.00 算数B: 52.00	[小学校] 国語: 61.00 算数: 68.00	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	
			[中学校] 国語A: 77.00 国語B: 62.00 数学A: 67.00 数学B: 49.00	[中学校] 国語: 72.00 数学: 60.00		
<p>(目標値の根拠)</p> <p>小学校: 国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校: 国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上</p>		目標値 (%)	[小学校] 国語A: 70.70 国語B: 54.70 算数A: 63.50 算数B: 51.50	[小学校] 国語: 63.80 算数: 66.60	全国学力・学習状況調査中止のため設定なし	
			[中学校] 国語A: 76.10 国語B: 61.20 数学A: 66.10 数学B: 46.90	[中学校] 国語: 72.80 数学: 59.80		
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	[小学校] 国語A: 97.60 国語B: 96.89 算数A: 100.79 算数B: 100.97	[小学校] 国語: 95.61 算数: 102.10	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能
			[中学校] 国語A: 101.18 国語B: 101.31 数学A: 101.36 数学B: 104.48	[中学校] 国語: 98.90 数学: 100.33		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	評価不能
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移	—
	関連計画	—				

1-②	学校園活性化事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	25,887
概要			実績			
◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。			◆全64校において設定した研究主題に沿って、校内研修等に取り組んだ。 公開授業は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら小・中学校55校で実施し、うち中学校9校については校内研究授業を実施した。 菊咲かそう体験事業は6月1日から実施した。小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学校合同音楽会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止とした。 ◆全7幼稚園において設定した研究主題に沿って、園内研修等に取り組んだ。また公開保育については、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、参加者を各市立幼稚園から1名のみにして実施した。 ◆外部講師を招聘した校内研修を160回、園内研修を33回実施した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合		実績値(%)	小:79.00 中:83.30	小:76.70 中:78.90	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	
(目標値の根拠) 全国平均以上		目標値(%)	全国平均 小:77.70 中:76.30	全国平均 小:74.10 中:72.80	全国学力・学習状況調査中止のため設定なし	
指標のめざすべき方向		達成度(%)	小:101.67 中:109.17	小:103.51 中:108.38	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能	
		↑				
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	評価不能
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	—
	関連計画	—				

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	学校教育室 (教職員担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	314,056	
概要			実績			
<p>◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。</p> <p>◆学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。</p>			<p>◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んだ。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
<p>(実績値の内容) 基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合</p> <p>(参考指標1) ※(参1)と表記 学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (参考指標2) ※(参2)と表記 保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合</p>		実績値 (%)	86.60 (参1) 48.50 (参2) 89.30	81.50 (参1) 46.10 (参2) 90.30	88.02 (参1) 43.60 (参2) 88.82	
<p>(目標値の根拠) 対前年度比向上</p> <p>(参考指標1) 対前年度比向上 (参考指標2) 90%以上</p>		目標値 (%)	86.00 (参1) 44.50 (参2) 90.00以上	86.60 (参1) 48.50 (参2) 90.00以上	81.50 (参1) 46.10 (参2) 90.00以上	
指標のめざすべき方向		達成度 (%)	100.69 (参1) 108.99 (参2) 99.22	94.11 (参1) 95.05 (参2) 100.33	108.00 (参1) 94.57 (参2) 98.68	
		↑				
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	108.00%
	市長公約	平成30年度市政運営方針			達成度の推移	↑
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

1-④	学校ICT機器等整備業務		担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	939,722
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。 ◆「1人1台」端末の導入に伴い、活用充実に向けたソフト面の整備及び評価を行う。 ◆授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆令和2年8月に、小学校15校のコンピュータ教室のタブレット型コンピュータを更新した。 ◆令和3年2月にタブレット端末の全児童生徒への導入を完了した。同時に、校内LAN環境を年度内に整備し、大型提示装置など周辺機器等を導入した。 ◆年度移行に伴うタブレット端末のキッティング及び台数調整を行った。 ◆AIドリルや採点システムなど、来年度以降の導入に向けた検証を、抽出校で行った。 ◆「1人1台」端末の導入に伴って、教育用アプリケーションのアカウントを配布し、ICT活用に係るルールを作成した。 ◆ICTサポート支援員により教員のサポートを行った。 			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 授業用コンピュータ1台あたりの児童・生徒数		実績値 (人/台)	8.50	5.82	0.87	
(目標値の根拠) 国の学校のICT化に向けた環境整備5か年計画及びGIGAスクール構想のロードマップ		目標値 (人/台)	3.00	3.00	1.00	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	35.29	51.55	114.94
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	114.94%
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成29年度当初実行計画			達成度の推移	↑
	関連計画	枚方市版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省				

1-⑤	多文化共生教育研究事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,059
概要			実績			
◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。			◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を行った。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している研究委員会やサマースクール等は開催せず、研究推進活動を実施した(機関紙・集録の発行)。 ◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、講演会・学習会が中止となる場合が多かった。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 (人・校)	338	377	225	
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 (人・校)	316	338	377	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	106.96	111.54	59.68
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	59.68%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	↓
	関連計画	—				

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) (教職員担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	152,667
概要			実績		
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を配置するとともに、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を新たに配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>◆英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>			<p>◆全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施した。また、小学校市費負担英語専科教員と府の加配を活用し、Native Speakerで小学校特別免許を所有する教員を含む専科教員を配置し、小学校外国語教育の指導体制の充実を図った。</p> <p>小学校での外国語の授業においては、校区中学校のNETの派遣やタブレット端末を活用したNETによる遠隔授業を実施した。NET-Eについては、令和3年4月1日からの配置に向けて2名採用した。</p> <p>◆英語外部検定試験は令和3年1月に実施し、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をした。</p> <p>◆枚方英語村の開催については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止とした。</p>		
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合		実績値 (%)	小：86.20 中：83.60	休業措置により 調査不能	小：89.84 中：83.33
(目標値の根拠) 児童（小）の満足度90%以上 生徒（中）の満足度85%以上		目標値 (%)	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00	小：90.00 中：85.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	小：95.78 中：98.35	休業措置により 調査不能 小：99.82 中：98.03
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	98.92%	
	市長公約	平成30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画	達成度の推移	—	
	関連計画	—			

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑦	読書活動推進事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	78,218
概要			実績			
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>◆市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。</p>			<p>◆義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図るため、全小中学校で学校図書館の運営方針及び年間計画を作成し、取組を進めた。</p> <p>◆児童・生徒の読書習慣の確立に向けて、朝読(小41校、中17校)や読み聞かせ(小34校、中1校)、ビブリオバトル(小1校、中10校)等の読書活動を実施した。授業において学校図書館を活用している小学校は44校、中学校は17校であった。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合		実績値 (%)	小：59.90 中：47.30	小：63.60 中：42.80	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし	
(目標値の根拠) 対前年度5ポイント向上		目標値 (%)	小：66.30 中：51.70	小：64.90 中：52.30	小：68.60 中：47.80	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	小：90.35 中：91.49	小：98.00 中：81.84	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	評価不能
	市長公約	平成28・29・30年度・令和3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成26年度当初実行計画			達成度 の推移	—
	関連計画	—				

1-⑧	進路指導等事務		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	5,911
概要			実績			
<p>◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</p> <p>◆直接働く人と接する職場体験学習などを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</p>			<p>◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを各中学校に周知案内した。例年実施している説明会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催していない。</p> <p>◆職場体験学習については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度は実施していない。</p> <p>◆令和2年度に、児童・生徒が自らの活動を記録し、蓄積できる教材である「キャリア・パスポート」を導入した。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 職場体験学習のための事前授業数の平均値		実績値 (件)	13.95	12.16	職場体験学習 中止のため 測定不能	
(目標値の根拠) 職場体験・インターンシップ実施状況等調査		目標値 (件)	12	12	12	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	116.25	101.33	職場体験学習 中止のため 測定不能
関連 計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	評価不能
	市長公約	—			達成度 の推移	
	実行計画	—				
	関連計画	—				—

1-④	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	担当課	学校教育室 （教育指導担当）	事業費計 （千円） ※人件費を含む	65,806	
概要			実績			
◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取組を推進する。また、放課後自習教室の開室方法及び児童・生徒の学習補助をする「やる気ングリーダー」の配置を見直し、民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、児童・生徒の学習支援を行う。			◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図った。 ◆8月に中学3年生を対象にした夏季集中学習教室を開催し、9月から全小学校では放課後自習教室、中学校では学習教室ひらスタを開室し、参加児童・生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
（実績値の内容） 放課後自習教室の実施回数（夏季集中学習教室を除く。）		実績値 （回）	5,401	4,239	1,593	
（目標値の根拠） 【H30年度】年間80日開室（小45校・中19校） 【R1年度】年間80日（小45校） 27日（中19校）開室 【R2年度】年間24日（小45校） 27日（中19校）開室		目標値 （回）	5,120	4,113	1,593	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 （%）	105.49	103.06	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成28年度市政運営方針			達成度 の推移	達成継続（↓）
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑤ 多文化共生教育研究事業	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、開催できなかった講演会・学習会があったため。	令和3年度は、インターネット上での開催といったように、開催方法も主催団体が工夫しているため、推移を見守る。

基本方策1に対する点検評価員による評価

確かな学力と自立を育む教育の充実としては、新型コロナウイルス感染症による影響から一部の事業で達成度が評価不能となっているものの、継続して授業・放課後・進路指導等の様々な事業に取り組まれており、全体として成果が表れつつあるように感じられる。

各事業についての意見は、次のとおりである。

1-④学校ICT機器等整備業務については、1人1台の端末導入が達成できたことから、今後は授業での効果的な活用などが課題となるため、次年度以降の事業の在り方や目標設定について検討していただきたい。

1-⑤多文化共生教育研究事業については、令和2年度は目標値を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響があるため、やむを得ないものとする。今後は、新たな取組を検討しながら、外国人教育・国際理解教育に係る活動を推進していただきたい。

1-⑥英語教育推進事業については、小学校での達成度が向上している点は評価できる。また中学校では、小学校で英語を学んだ生徒が増えてくるので、今後の取組みに期待したい。

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います^①。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます^{②③}。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます^{④⑤⑥}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^{⑦⑧}や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し^⑨、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{④⑩⑪}。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます^⑫。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑬や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します^⑭。

主要事業の状況

2-①	人権教育推進研究事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	4,778
概要			実績		
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。			◆学校園における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図った。 ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会（例年は年5回開催）…3回実施。 ・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム…中止。 ・大阪府人権教育夏季研究大会…書面開催。 ・枚方市人権教育研究協議会講演会…11月実施。 ・大阪府人権教育研究堺・泉北大会…書面開催。 ・実践報告会（例年は年2回開催）…中止。 ・全国人権・同和教育研究大会（例年は年1回開催）…令和3年度に延期。 ・大阪府人権教育人権・部落問題学習研究集会…書面開催。 ◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止あるいは書面開催の大会が多かった。		
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値 (人)	562	577	549
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 (人)	534	562	577
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	105.24	102.67	95.15
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度		95.15%
	市長公約	—	達成度の推移		
	実行計画	—			
	関連計画	—			↓
2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)		

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	10,170	
概要			実績			
◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。			◆日本語指導の必要な帰国・渡日外国人児童・生徒を対象に教育指導員を週1回2時間、もしくは週2回4時間派遣した。 ◆対象言語 中国語、タガログ語、ポルトガル語、モンゴル語、ベトナム語、ウルドゥー語、広東語、ドイツ語、スペイン語の9言語。 ◆令和3年3月31日現在の対象児童・生徒は25人。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合 (対応可能な言語数/対応を必要とする言語数)		実績値 (%)	100.00 (5/5)	100.00 (11/11)	100.00 (9/9)	
(目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100% ※R2年度より指標を変更 H30・R1年度の実績値は参考として記載		目標値 (%)	—	—	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	—			達成度 の推移	—
	実行計画	—				
	関連計画	—				
2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)			

2-⑤	部活動指導協力者派遣事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	13,673
概要			実績			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。			◆4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により休校していたが、学校再開の6月から専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の充実と顧問教員の時間的余裕の確保を図った。 派遣中学校数：19校 部活動指導協力者：113人			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 中学校部活動指導協力者の派遣回数		実績値 (回)	5,553	5029.5	4,491.5	
(目標値の根拠) 派遣回数の上限 ※R2年度より、過去の派遣回数を踏まえ目標値を変更		目標値 (回)	7,030	7,030	5,320	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	78.71	71.54	84.43
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	84.43%
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針			達成度 の推移	↑
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

2-⑥	学校支援社会人等指導者活用事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	6,062
概要			実績			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。			◆小中学校においては、学校再開の令和2年6月から、各教科における学習支援（総合的な学習の時間や外国語等）や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図った。 学校支援社会人等指導者登録者数：272人 ◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者により、サッカー指導や英語に触れる活動、お話会やわらべ歌遊びの会などを実施した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 (回)	1,489	1,696	1,073.5	
(目標値の根拠) 活用回数の上限（1校園あたり約22回）		目標値 (回)	1,670	2,009	1,844	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	89.16	84.42	58.22
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	58.22%
	市長公約	—			達成度 の推移	↓
	実行計画	—				
	関連計画	—				

2-⑦	学校給食事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,197,069
概要			実績			
<p>◆全小学校の児童を対象に、2箇所のセンター方式の共同調理場、4箇所の親子方式共同調理及び24箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p>			<p>◆令和2年度当初は、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や分散登校を行っていたため、令和2年6月15日から給食の提供を開始した。</p> <p>◆給食提供にあたっては、児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で調理した、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を調理し、児童・生徒へ提供した。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 小・中学校給食提供食数		実績値 (食)	小：4,379,558 中：590,877	小：3,995,397 中：550,795	小：3,826,491 中：571,852	
(目標値の根拠) 年間の給食提供食数。 【小学校】 (5月1日時点の全児童数+教職員数) ×給食実施日数		目標値 (食)	小：4,423,200 中：970,540	小：4,037,040 中：975,870	小：3,830,784 中：944,646	
【中学校】 (5月1日時点の全生徒数+教職員数) ×目標喫食率×給食実施日数		達成度 (%)	小：99.01% 中：60.88%	小：98.97% 中：56.44%	小：99.89% 中：60.54%	
指標のめざすべき方向		↑				
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	80.22%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	↑
	関連計画	—				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

2-⑧	学校給食における地元農産物利用促進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	798
概 要			実 績			
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取組を進める。			◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて23品目で32.0トン、うち枚方産は18品目20.8トン(玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、なす、冬瓜、さつまいも、小松菜、チンゲン菜、ほうれん草、里芋、大根、白菜、キャベツ、人参、れんこん、金時人参、青葱、黒米)を使用した。また、米については、北河内産米を含む大阪産「ヒノヒカリ」「にこまる」を175.1トン使用した。 以上の結果、令和2年4月～令和3年3月の枚方産及び府内産購入量の割合は33.3%であった。 (新型コロナウイルス感染症対策・学校臨時休業、分散登校により、令和2年6月15日より給食開始)			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 地元農産物の割合		実績値 (%)	32.30	28.20	33.30	
(目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標		目標値 (%)	38.00	38.00	38.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	85.00	74.21	87.63
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	87.63%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	↑
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画				

2-⑨	食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,393
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組を進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故（救急搬送）件数（新規発症を除く）が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」に基づき食物アレルギー対応を実施した。 ◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行った。小学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた市内統一の対応を実施した。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行い、教育委員会内での情報共有を行った。 			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）件数		実績値 (件)	0	0	0	
(目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）がないこと。		目標値 (件)	0	0	0	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (→)
	関連計画	—				

2-⑩	学校健康管理事業	担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	17,199,190	
概要			実績			
◆学校園医（内科医、眼科医、耳鼻科医）、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。			◆小中学校を対象に、内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校園医、学校園歯科医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質（中学校部活動校のみ）、照度の検査等を行った。 ◆また、歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて37校で行った。 ◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行った。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 学校内科医1人あたりの児童生徒数		実績値 (人)	309	305	324.4	
(目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		目標値 (人)	330	330	330	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	106.80	108.20	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	101.73%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (↓)
	関連計画	—				

2-⑪	健康診断事業	担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	40,436	
概要			実績			
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。			◆結核検診（全児童・生徒）、尿検査（全児童・生徒）、心臓検診（小学校第1学年・中学校第1学年）及び眼科検診（全児童・生徒）を行った。 ◆脊柱側わん（モアレ）検診を令和2年12月～令和3年1月に実施した。 健康診断総受診者数：30,830人 健康診断総対象者数：30,852人			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 健康診断受診率 定期健康診断の受診率（受診者数/対象者数×100）		実績値 (%)	99.70	99.71	99.92	
(目標値の根拠) 対象者全員		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	99.70	99.71	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	99.92%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	↑
	関連計画	—				

2-⑫	中学校給食充実事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	7,975
概要			実績			
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取組を進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員給食への拡充を目指す。			◆新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大による臨時休業や分散登校も見据え、臨時的な給食の提供ができるよう、また、非常時の保護者負担の軽減を図ることができるよう、民間調理場の活用も含めた供給体制の検証を行った。 ◆選択制での中学校給食の喫食率については、中学校やPTAと連携した取組等を進め、目標喫食率確保に努め、喫食率は平成28年度25.7%から令和2年度は33.8%に向上した。 ◆全員給食については、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、スケジュール及び財源確保について再検討し、実施に向けた検討を進めた。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 中学校給食の喫食率		実績値 (%)	32.80	33.50	33.80	
(目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 (%)	45.00	50.00	50.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	72.89	67.00	67.60
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	67.60%
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	↗
	関連計画	—				

2-⑬	文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	17,537
概要			実績		
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ◆枚方・百済フェスティバル（古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント） ◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示） ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など ◆出前講座 ◆古文書講座 			<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新設5か所、修繕6か所。 そのうち、百済寺跡では、訪問した方々に古代寺院をより身近に感じていただくため、アクリル板の透写パネルに復元図を描写し、実背景と重ね過去の建物の大きさなどを実感していただける説明板（2基）を設置した。 ◆文化財防火デーの市民参加での消防訓練は、緊急事態宣言が発令されたため中止した。 ◆歴史講座は「幕末の蘭方医 緒方洪庵の感染症対策」（10月）や「枚方市内の中・近世石造物の石材と産地」（12月）をテーマに実施した。 また、古文書講座入門編（10月～11月）、親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」（11月）、歴史ウォーク「歩いてみよう楠葉」（3月）、考古学講座「遺物にふれてみよう」（3月）を開催した。 ◆枚方・百済フェスティバル（同実行委員会決定）、・ジュニア文化財学級、市民歴史講座（2件）、古文書講座中級編（1件）は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ◆再整備事業の状況を写真パネルで紹介する文化財展示会「特別史跡百済寺跡発掘調査パネル展」（6月24日～7月26日）を開催し、現在、市内の発掘調査成果をもとに紹介する「発掘でわかった！枚方のむかしむかし」を輝きプラザきらら展示ルームで開催（8月5日～2月28日）。 ◆文化財だより4月・7月・10月・1月に発行。「文化財パンフレット百済寺跡禁野本町遺跡パネルシリーズ」を3月に発行。 		
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
（実績値の内容） 歴史関連イベントの参加者数		実績値 (人)	926	810	281
（目標値の根拠） 過去のイベントの参加者数の平均値を目標値とする。（事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた）。		目標値 (人)	1,200	1,200	1,280
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	77.17	67.50
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	21.95%	
	市長公約	—	達成度の推移	↓	
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-⑭	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	59,226	
概要			実績			
◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。）			◆新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた学校キャンプの受け入れについて、感染症対策を行ったうえで、10月より再開した。 (令和2年10月～令和3年3月の間で16の学校が実施)			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 市内小学校のキャンプ利用件数		実績値 (件)	22	15	17	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数		目標値 (件)	25	25	25	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	88.00	60.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	68.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			達成度 の推移	↑
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑥ 学校支援社会人等指導者活用事業	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業および学校来校者の制限に伴い、事業活用の機会を計画どおり実施できなかったため。	令和3年度については、一斉の臨時休業措置が行われていないため、各学校において概ね計画通り事業を実施する予定である。
⑫ 中学校給食充実事業	令和元年度に引き続き、中学校給食における喫食率の目標値は50%であったが、新型コロナウイルス感染症に伴う学校運営方法の見通しが厳しい状況の中、一時的に給食利用率が減少したことも影響し、前年度から達成割合は上昇したものの大幅な喫食率の上昇に結びつかず、80%を超える目標達成につながらなかった。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業や分散登校も見据え、臨時的な給食の供給体制について検証を実施した。今後は検証を基に様々な手法等を検討しながら、喫食率向上に向けた取組を行っていく。
⑬ 文化財啓発普及事業	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた多くの講座や催しが中止になったため。	新型コロナウイルスの感染防止を図りながら、事業を継続する。延期可能な事業は、中止ではなく実施可能な時期での延期を検討する。
⑭ 野外活動センター利用促進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により学校キャンプの受け入れを一時的に中止し、キャンセルも相次いだため目標達成には至らなかった。しかし、再開後は遠出を避ける観点から市内にある当該施設を利用する学校が増えたこともあり、前年度に比べて利用件数は増加している。	屋外のアクティビティを楽しめるという強みを生かし、「新しい生活様式」に対応した利用の仕方の検討及び情報発信を進める。

基本方策2に対する点検評価員による評価

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実としては、新型コロナウイルスの影響により達成度が低下した事業も見られるが、子どもの健康に関する事業や人権に対する意識向上のための研修など、各事業で適切に取り組んでいる。

各事業についての意見は、次のとおりである。

2-③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業については、生活言語としては不自由なく扱うことができている子どもたちでも、学習言語としての理解が難しいなどの課題があるため、学習理解度や進学率などについても、他の事業も含めて課題の把握・注視に努めていただきたい。また、予算等の課題があっても財源確保に努め、事業を推進していただきたい。

2-⑦学校給食事業については、事業指標として、給食提供数を使い続けるのであれば、目標値である給食実施日数から臨時休校等の日数を除くなど、目標の設定について改めて検討していただきたい。

2-⑭野外活動センター利用促進事業については、学校キャンプのニーズが高まったことを契機に、野外活動センターの活用が学校で定着するよう、更なる工夫を期待する。

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し^①、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること^②で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^③とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修^①のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

3-①	枚方市教職員育成事業		担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	89,068
概要			実績			
<p>◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。</p> <p>◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。</p> <p>◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー(学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等)が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。</p> <p>◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国が推進するGIGAスクール構想が前倒しとなったことに伴い、各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームを中心に、ICT機器の効果的な活用をめざした取組を実施。</p>			<p>◆令和2年度は、令和元年度に引き続き、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図った</p> <p>◆本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修の実施については、変更計画の策定に基づき、延期・中止・代替措置を検討した結果、基本研修126回、専門研修44回、計170回に加え、臨時研修を13回実施した。</p> <p>◆また、教育推進プランナーを中心にした経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校訪問を自粛した結果、495回の訪問実施にとどまっている。</p> <p>◆各校1名の代表者64名と指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームメンバーを令和2年6月に発足し、そのうち中心となるメンバー16名をコアメンバーとして位置付け、コアメンバー、指導主事等で構成するコア会議を、年間20回開催(内19回 オンライン)。64名全員が参加するジェネラル会議を年間3回開催(内2回 オンライン)。その他、64校を6つのユニットに分け、年間を通してGoogleのオンライン上のclassroomで情報共有、情報交換を実施した。本市の情報教育推進ワーキングチームの取組は、先進的な取組として様々な団体から取組発表の依頼を受け、全国へ発信した。令和3年度も新たなメンバーを募集し、ICT機器の効果的な活用をめざした研究を市内全小中学校と教育委員会が一体となって実施予定。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合			実績値(%)	95.10	95.30	92.45
			目標値(%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) 研修の実質的効果			達成度(%)	95.10	95.30	92.45
指標のめざすべき方向		↑	達成度(%)	95.10	95.30	92.45
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	92.45%		
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移	↓		
	関連計画	—				

3-②	授業の達人養成・教科研究事業		担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	6,234
概要			実績			
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <p>◆外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。</p> <p>◆教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。</p> <p>◆先進地域、先進校への視察を実施。</p>			<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>◆令和2年度は、2年継続研修の初年次として、『授業の達人養成講座』を年間12回実施予定としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は10回であった。</p> <p>◆研修講座では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習を通して、新学習指導要領に示されている資質・能力を育むための授業実践等についての理解を深めるとともに、受講者相互の実践交流を通して、自身の実践に生かすようにした。</p> <p>◆また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めた。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 「授業の達人養成講座」の受講者の①理解度②満足度		実績値 (%)	①理解度 96.80 ②満足度 95.20	①理解度 97.00 ②満足度 96.90	①理解度 98.20 ②満足度 96.40	
(目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の理解度と満足度		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	①理解度 96.80 ②満足度 95.20	①理解度 97.00 ②満足度 96.90	①理解度 98.20 ②満足度 96.40
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	97.30%
	市長公約	—			達成度の推移	↑
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------------------

基本方策3に対する点検評価員による評価

「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を持つ教職員の育成をめざして、充実した研修が実施されていると考える。

各事業の意見については、次のとおりである。

3-②授業の達人養成・教科研究事業について、新たな事業指標として、「研修受講者の理解度及び満足度」が設定され、受講者の反応が見える指標となったことを評価する。また、「研修受講者の理解度及び満足度」は、ともに高い達成度を示しており、当該事業が高い効果を発揮していると考えが、引き続き、維持・向上に努めていただきたい。

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^①とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^①。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます^①。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②④}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます^③。

さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う^{①②④}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②④}。

主要事業の状況

4-①	支援教育推進事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	194,847
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、氷室・津田南・交北・明倫小学校の4校に専門家を派遣し、指導・助言を行った。 ◆教育支援推進室職員が、学校、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。 ◆小中学校の支援教育の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤職員を全小中学校に加配した。 ◆肢体不自由児介助員を20人配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の支援を行った。 ◆学校看護師27人(会計年度任用職員学校臨時看護師)を配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援した。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し、理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施している。合わせて支援学級担任に対して、日常訓練の指導・助言を行った。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び令和2年度に新設した支援学級の設備整備を検討し、必要な備品を購入した。 ◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、リーディングチームの派遣が減少した。 			
指標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
(実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数			実績値 (回)	453	479	107
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談(H30年度、R1年度のみ数値に計上)、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。 (※令和2年度から、幼稚園巡回相談は、公立保育幼稚園課所管となるため、4-④幼児支援教育事業で報告)			目標値 (回)	443	468	166
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	102.26	102.35	64.46
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	64.46%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	↓
	関連計画	—				

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	4,280
概要			実績			
<p>◆小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</p> <p>◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</p>			<p>◆毎日利用の児童・生徒9人、雨天時利用の児童・生徒27人に対して、支援金を交付した。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
(実績値の内容) タクシーを利用した児童・生徒の人数			実績値 (人)	36	40	36
(目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数			目標値 (人)	33	30	31
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	109.09	133.33	116.13
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	116.13%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移	達成継続 (↓)
	関連計画	—				

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	学校教育室 (教育研修担当)
-----	-------------------------	-----	-------------------

4-④	幼児支援教育推進事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	25,057
概要			実績			
<p>◆幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。</p> <p>◆就学前の幼児を対象とした言語訓練指導（幼児ことばの教室）を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。</p> <p>◆幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員（旧：支援教育担当）及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。</p>			<p>◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語の障害のある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。</p> <p>◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数：379回</p> <p>◆幼児ことばの教室の実施回数：224回</p> <p>◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする幼児に対して日常生活を支援するための看護師を配置した。</p> <p>◆支援教育担当の配置状況：19名 生活支援員の配置状況：27名 医療的ケア看護師の配置状況：3名</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率			実績値 (%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) ニーズ（申し込み）に対する実施率100%			目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	—			達成度 の推移	
	実行計画	—				
	関連計画	—				達成継続 (→)

基本方策4に対する点検評価員による評価

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちに充実した教育環境を提供することをめざして、支援教育に関する研修や、学校看護師や肢体不自由児介助員の配置など、枚方市では手厚い支援が実施されていると考える。

各事業についての意見は、次のとおりである。

4-①支援教育推進事業については、コロナ禍で支援の在り方に制約がかかる状況ではあるが、工夫をしながら支援を必要とする児童・生徒の支援を継続していただきたい。

4-④幼児支援教育推進事業については、保護者による本事業に関連する取組みのニーズが高まっているなかで、保護者のニーズに100%応じていることは評価できる。

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります^①。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②③}。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します^{①②}。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます^{④⑤}。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します^④。

主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	703
概要			実績		
◆幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。			◆小学校の空き教室での給食体験や授業体験、校庭での散歩やどんぐり拾いなど、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら実施した。 また、併せて幼小連携推進に関しての職員間での打ち合わせや、支援を要する幼児の進学に向けての連携会議を実施した。 ◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について広く周知できる機会をつくった。また、園開放や幼児教育教室に参加する保護者からの育児相談に応じ、発達や親子関係の悩み、また幼稚園選びの相談などにも応じた。		
指標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
(実績値の内容) ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 (園)	—	—	6
(目標値の根拠) すべての市立幼稚園において①及び②を達成する（すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は7園×2=14となる）		目標値 (園)	—	—	14
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	42.86
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度 42.86%
	市長公約	—			
	実行計画	—			達成度 の推移 —
	関連計画	—			

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課
5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課

5-④	幼稚園保護者支援充実事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	71,986
概要			実績			
◆幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。			◆預かり保育は延べ1,723日実施し、延べ28,218人が利用した。 ◆幼児教育教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月までは実施を控え、7月から参加人数を調整しながら実施したが、1・2月についても緊急事態宣言が発令されたため、再度実施を控えた。なお、延べ148日実施し、延べ1,187人が利用した。 ◆就労支援の一環として、令和3年10月から幼稚園給食をモデル的に実施するための予算を、令和3年度当初予算に計上した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	100.00%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	達成継続 (→)
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画				

5-⑤	市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	73,314
概要			実績			
<p>◆平成30年度に改正された「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども（3～5歳児）に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として改めて幼児教育が重要と位置づけられた。</p> <p>◆そうした中、教育内容の充実を図るため、公立幼稚園（6園）において、令和元年度から新たに3歳児保育を開始するとともに、預かり保育時間を7～19時に拡充することで、待機児童対策の一環で1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）については、小規模保育施設から公立幼稚園まで切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として運営する。</p>			<p>◆引き続き、市立幼稚園6園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山）において3歳児保育を実施するにあたり、幼稚園見学会や個別の入園に関する相談受付を実施するとともに、令和3年4月入園予定の園児のための募集要項等を作成し、ホームページや広報での周知に取り組んだ。</p> <p>◆また一部の幼稚園においては、預かり保育の定員を越える申し込みがあった日について抽選を実施し、利用人数の調整を行った。</p> <p>（参考） 1次募集での決定人数：115人 2次募集での決定人数：17人</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
（実績値の内容） 3歳児保育に対する入園児数		実績値 (人)	139	137	132	
（目標値の根拠） 令和2年度3歳児定員		目標値 (人)	160	150	150	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	86.88	91.33	88.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	88.00%
	市長公約	—				
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画			達成度の推移	↓
	関連計画	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン 第2期枚方子ども子育て支援事業計画				

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
① 幼児教育充実事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多人数が集まる活動や研修、会議を実施できない時期が多かったため	新型コロナウイルス感染症の拡大状況も踏まえ、実施に向けてどういったことができるかを模索しながら、可能な限り実施していく。

基本方策5に対する点検評価員による評価

幼児教育に関する取組みだけでなく、子育て相談など保護者支援にも取り組んでおり、幅広い取組みが実施されているといえる。

各事業についての意見は、次のとおりである。

5-⑤市立幼稚園における3歳児保育実施事業について、入園者が定員に満たないという実態に対して、保護者のニーズに応える取組みの実施及び周知に努めていただきたい。

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます^①。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	4,499	
概要		実績				
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。		◆前年度までに設置した27校に加え、新たに18校において学校運営協議会を設置して、全45小学校がコミュニティ・スクールとなった。 ◆12月にコミュニティ・スクール実践報告会を開催し、実践事例の紹介や各校の取組についての情報を発信するとともに、「地域とともにある学校づくり」を推進した。				
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 (%)	100.00	100.00	89.00	
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	89.00%
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			達成度の推移	
	実行計画	平成30年度当初実行計画				↓
	関連計画	—				

基本方策6に対する点検評価員による評価

コミュニティ・スクールについては、市内全 45 小学校が事業対象校となり、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。

本事業が円滑に機能すれば、学校が抱える課題を地域ぐるみで解決することができ、子どもたちの学びの充実や教員の働き方改革にもつながるため、引き続き「社会に開かれた学校づくり」に努めていただきたい。

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります^②。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^③とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^④。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います^{④⑤⑥⑦⑧⑨}。いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します^{⑥⑨}。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます^{⑦⑧⑨⑩}。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます^{⑦⑩⑪}。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます^{⑦⑨}。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます^{⑤⑨⑩}。

主要事業の状況

7-①	小学校安全監視事業		担当課	新しい学校推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	35,071
概要			実績			
<p>◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。</p> <p>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。</p>			<p>◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等の機器の修繕等を必要に応じて行った。</p> <p>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持した。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
(実績値の内容) 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数			実績値 (件)	0	0	0
(目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし			目標値 (件)	0	0	0
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	100.00%		
	市長公約	—				
	実行計画	—	達成度の推移	達成継続 (→)		
	関連計画	—				

7-②	通学路安全対策事業		担当課	新しい学校推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	33,214
概要			実績			
<p>◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取組、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。</p> <p>◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。</p>			<p>◆小学校18校(30箇所)に59人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確保を図った。令和2年12月から令和3年1月にかけて、全配置箇所の現地調査を行い、交通量や道路状況の実態を把握した。</p> <p>◆小学校を通じて報告のあった危険箇所を、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議をしたうえ、合同点検を実施した。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
(実績値の内容) 交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。)			実績値 (人)	57	59	59
(目標値の根拠) 前年度実績			目標値 (人)	58	57	59
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	101.75	96.66	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	100.00%		
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移	↑		
	関連計画	—				

7-③	小中学校安全対策事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	3,081
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆市として統一した地震発生時の対応マニュアル及び大雨警報等発表時の対応マニュアルを策定し、各学校ではその内容も含めて策定した危機管理マニュアルに基づき、実践的な避難訓練を順次実施した。 ◆不審者情報等を入手した際は、各学校園および警察等の関係機関に情報提供を行い、各学校から保護者に対してメール配信システムを活用することで、緊急の情報を提供した。また、暴風警報等発令時には、教育委員会から各学校に通知するとともに、各学校から保護者にメール配信することで、全小中学校が統一した対応をとれる仕組みを整えた。 			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 小学校における救命講習の実施校			実績値 (校)	—	—	臨時休校に伴う授業時数確保のため中止
(目標値の根拠) 全小学校で実施			目標値 (校)	—	—	45
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	測定不能
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	評価不能
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	—
	関連計画	—				

7-④	生徒指導充実事業		担当課	学校推進室 (教職員担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	25,464
概要			実績			
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>			<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和2年度は中学校6校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、3校には非常勤講師を1人ずつ配置した。生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行った。</p> <p>◆年度当初及び例年は夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル（いじめ編）（体罰防止編）等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めた。</p> <p>◆加配講師（任期付講師）配置校 令和2年度 学校名 津田中、枚方中、中宮中、桜丘中、蹉跎中、招提北中</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 任期付講師配置校における暴力行為の発生件数			実績値 (件)	48	31	6
(目標値の根拠) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少			目標値 (件)	51	43	28
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	106.25	138.71	466.67
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	466.67%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (↑)
	関連計画	—				

7-⑤	いじめ問題対策事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	21,784
概 要			実 績			
<p>◆枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を年3回開催する。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</p> <p>◆「ストップ!いじめ」全小中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付する。</p>			<p>◆枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を例年3回実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1回目は7月に書面開催。2回目は10月30日、第3回は2月に書面開催で実施した。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会を8月25日と2月8日に開催した。</p> <p>◆ひらかた学校応援チームで学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行った。</p> <p>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、4月に「ストップ!いじめ」を全小中学校の新入生保護者に配付した。</p> <p>◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んだ。</p> <p>◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んだ。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度	
(実績値の内容) 認知したいじめの解消率(解消件数/認知件数) 【】内は、R 2 年度末時点の実績値		実績値 (%)	小 99.84 (644/645) 【99.84 (644/645)】 中 98.61 (142/144) 【98.61 (142/144)】	小100.00 (432/432) 【100.00 (432/432)】 中 98.60 (141/143) 【98.60 (141/143)】	小 98.94 (651/658) 中 97.42 (264/271)	
(目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	小 100.00 中 98.60	小 98.94 中 97.42	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	98.18%
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移	↓
	関連計画	—				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,556
概要			実績		
○スクールアドバイザーの業務 ◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。 ○スクールアドバイザーとして派遣する者 ◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、教育支援推進室が依頼した者			◆令和2年度は、9校(小学校5校、中学校4校)に延べ17回派遣し、教職員39人、児童・生徒24人、保護者8人、その他2人の支援にあたった。		
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 (派遣件数/派遣要請件数)		実績値 (%)	100.00 (32/32)	100.00 (21/21)	100.00 (18/18)
(目標値の根拠) 派遣要請に対して、実際に派遣した割合		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度		100.00%
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移		達成継続 (→)
	関連計画	—			

7-⑦	教育相談事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,302
概要			実績			
○子どもの笑顔を守るコール（いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン） ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。（平日 9：00～17：00） ○継続教育相談 ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。（要予約 月～金） ○メンタルヘルス相談 ◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。（要予約 月・金の午後）			◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス電話相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に対応した。			
指標の説明			年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度
（実績値の内容） 電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数）			実績値 (件)	1,888	1,840	1,865
（目標値の根拠） 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績			目標値 (件)	1,902	1,888	1,840
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	99.26	97.45	101.36
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	101.36%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	↑
	関連計画	—				

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	11,317
概要			実績			
<p>◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。</p> <p>◆令和2年度は、保護者、児童及び保護者のニーズに対応するため、全小学校で1校につき年間37回配置する。</p>			<p>◆全45小学校に「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行った。</p> <p>◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による休校のため、4・5月の相談件数が例年と比較して大幅に減少したため、1校当たりの平均配置回数が35回程度にとどまった。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 心の教室相談員の年間総配置回数			実績値 (回)	1,373	1,631	1,581
(目標値の根拠) 【H30年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を31回 【R1年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を36回 【R2年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を37回			目標値 (回)	1,395	1,620	1,665
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	98.42	100.68	94.95
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	94.95%		
	市長公約	—	達成度の 推移	↓		
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業		担当課	子どもの育ち見守りセンター	事業費計 (千円) ※人件費を含む	38,032
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆就学前・就学後の支援の継続性の確保と連携強化を図るため子どもの育ち見守りセンターへ移管（補助執行）する。 ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助 ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆子どもの育ち見守りセンター等が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆法律、福祉、心理、教育の専門分野のスクールソーシャルワーカー（SSW）・スーパーバイザー（SV）を設置しスクールソーシャルワーカーへ指導助言を実施 スクールソーシャルワーカーを配置する拠点校以外の学校についても月に1回程度巡回し、児童・生徒の様子や学校の状況について確認・助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 			<ul style="list-style-type: none"> ◆SSWは校内チーム体制を組んで福祉部門等と連携しながら、ケース対応を行った。 ◆8中学校区及び適応指導教室に社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを配置しており、校内チーム体制を構築しながら、教職員とともにケース対応や、必要に応じて関係機関等との連携のコーディネートを行った。 ◆SSWは配置された学校において、福祉的手法の助言や校内または拡大ケース会議のファシリテーションを行っている。この中で、関係機関やスクールカウンセラー等とも連携した。 ◆ひらかた学校応援チームの活動は97回実施している。各学校の課題に対する助言や、必要に応じてスクールソーシャルワーカーの緊急派遣の提案を行った。なお、スクールソーシャルワーカーの緊急派遣依頼は36回あった。 ◆緊急派遣先の学校においては、校内ケース会議・拡大ケース会議への参加や関係機関等との連携のコーディネートなどを行った。 ◆枚方市子どもの育ち見守りセンターが主催する連絡会等は6回実施した。 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーのスクールソーシャルワーカー及び学校への指導助言は個別を40回、グループを2回実施した。 ◆市が直接スクールロイヤーと委託契約し月に1度のロイヤー相談及び緊急相談を実施した。 			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
（実績値の内容） スクールソーシャルワーカー等の活動回数			実績値 (回)	868	369	467
（目標値の根拠） SSW・SV 12回、SSW9人×55回			目標値 (回)	932	507	507
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	93.13	72.78	92.11
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	92.11%
	市長公約	平成28・29年度・令和2年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	↑
	関連計画	—				

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	17,396
概要			実績			
<p>◆不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。</p> <p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。</p> <p>◆月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。</p> <p>◆1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。</p>			<p>◆不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。</p> <p>◆市内全中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行った。</p> <p>◆新たな不登校を生まない取組として、生徒指導主事や子ども支援コーディネーターと連携して情報共有を図った。</p> <p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会は、例年年間3回、枚方市小中学校生徒指導連絡会は、例年年間11回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上の子どもの生徒の合計)			実績値 (%)	4.23	4.54	4.75
(目標値の根拠) 公表されている府の公立中学校過去5年の不登校出現率の平均			目標値 (%)	3.36	4.00	3.97
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	79.43	88.11	83.58
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	83.58%		
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移	↓		
	関連計画	—				

7-⑪	適応指導教室事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	17,155
概要			実績			
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>			<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行っているが、令和2年度の保育体験は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施した。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、6日間、延べ8人参加した。 ①令和2年10月27日～29日の3日間 ②令和3年2月2日～4日の3日間</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が、登室した割合		実績値 (%)	77.70	87.50	100.00	
(目標値の根拠) 「ルポ」への登室100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	77.70	87.50	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			達成度の推移	↑
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

基本方策7に対する点検評価員による評価

いじめや不登校などの学校生活における課題への対策として、各学校に専門家を配置することと並行して、学校がより良い環境となるように、学校づくりの原点となるクラスづくりや子どもたちの仲間づくりに重点を置いた研修等の実施を検討していただきたい。

各事業についての意見は、次のとおりである。

7-③小学校安全対策事業について、小学校における救命講習は、子どもたちの安全を確保するうえで、大変重要なことだと考える。様々な機会を活用して、引き続き、取組みの推進に努めていただきたい。

7-⑩不登校児童・生徒支援事業について、学校によって不登校発生率に差があるのは、その学校のクラスづくりや生徒への対応に課題がある可能性がある。学校が子どもたちにとって、居心地の良い場所となっているかという観点で、各学校での点検を進めていただきたい。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます^{①②}。

空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます^②。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します^④。

また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑦。

主要事業の状況

8-①	学校園施設維持補修事業		担当課	施設整備室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,556,586
概要			実績			
<p>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事及びトイレ整備を行う。トイレ整備における洋式化、ドライ化、ユニバーサル化については、令和5年度までの整備完了に向けて取り組む。</p> <p>◆安全対策及び学校からの要望に基づいた改修工事を行う。</p>			<p>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事予定32件の内、31件の工事を完了した（内、2件は物品発注により完了）。新型コロナウイルス感染症による夏休み期間短縮の影響及び換気確保のために、1件の工事は実施できていない。実施済み工事の内5件は、工事内容の優先順位を変更して実施した。</p> <p>また、トイレ整備工事予定10件の内、8件の工事を完了した。中学校の教室棟トイレの2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できなかった。</p> <p>◆安全対策及び学校からの要望に基づいた工事予定5件の内、3件の工事を完了した。2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できなかった。</p> <p>◆上記のほか、当該年度に対応が必要となった工事13件を実施した。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 保全計画等の工事施工件数		実績値 (件)	43	68	55	
(目標値の根拠) 保全計画等の施工予定件数		目標値 (件)	45	52	47	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	95.55	130.77	117.02
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	117.02%
	市長公約	平成30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (↓)
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画				

8-②	学校施設整備事業		担当課	施設整備室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	903,912
概要			実績			
◆平成27年3月に策定した「枚方市学校施設整備計画」にトイレ整備事業および枚方市市有建築物保全計画を一元化することで、より効率的な施設整備を図るとともに、コスト縮減や財政負担の平準化を考慮するものとして、令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」をもとに、学校施設の総合かつ計画的な整備や保全の推進に向けて、取組を進める。			◆長寿命化改修工事について、香里小学校は令和2年10月に工事を完了した。津田中学校は令和3年10月完了を目指し引き続き工事を実施中。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 基本設計・実施設計を実施した学校数		実績値 (校)	5	5	5	
(目標値の根拠) 枚方市学校施設整備計画の第1期実施計画(前期)の整備校数		目標値 (校)	5	5	5	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移	達成継続 (→)
	関連計画	枚方市学校施設整備計画				

8-③	学校規模等適正化事業		担当課	新しい学校推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	17,545
概要			実績			
◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取組を進める。			◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、令和4年4月の高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて、保護者や地域コミュニティと協議等を行い、また、説明会を実施し、「枚方市学校規模等適正化実施プラン【高陵小学校と中宮北小学校】」を策定した。 ◆保護者や地域、学校の代表者等と(仮称)統合協議会の発足に向けた準備会議を行った。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 「枚方市学校規模等適正化実施プラン【高陵小学校と中宮北小学校】」の策定		実績値 (校)	0.00	0.00	100.00	
(目標値の根拠) 実施プラン策定に関する実績		目標値 (校)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移	↑
	関連計画	—				

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育研修担当)
-----	---------------------------	-----	-------------------

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	26,829
概要			実績		
<p>◆校務支援システムを更新し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。</p>			<p>◆校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新・転任者等にも研修等で操作等の習熟に努めた。</p> <p>◆校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行うことで、セキュリティに対する教職員の理解を深めた。</p> <p>◆令和2年度は所見項目の3学期への統合に伴い、1、2学期の通知表事務が軽減し、3学期の事務が増加しているため、結果として実績値が悪化した。</p>		
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 教職員向けのアンケート調査において、通知表の作成事務にかかる時間が5時間未満の割合		実績値 (%)	22.30	24.30	16.70
(目標値の根拠) 導入当初に設定した目標（教員の4人に1人がシステム導入以前の平均時間である10時間の半分以下の時間数を基準として設定）		目標値 (%)	25.00	25.00	25.00
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	89.20	97.20	66.80
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	66.80%	
	市長公約	—			
	実行計画	—	達成度 の推移	↓	
	関連計画	—			

8-⑥	学校給食事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	おいしい給食課
-----	---------------------	-----	---------

8-⑦	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	900,305
概要			実績			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所をセンター方式の共同調理場又は親子方式共同調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。			◆6箇所のセンター方式の共同調理場及び親子方式共同調理場が完成し、令和2年度で本事業は完了した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 供用開始した調理場数		実績値 (場数)	2	1	3	
(目標値の根拠) 当該年度中に供用開始する予定の調理場数		目標値 (場数)	2	2	3	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	50.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成29年度当初実行計画			達成度の推移	↗
	関連計画	—				

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑤ 校務の情報化推進事業	令和2年度から通知表の様式が変わり、1,2学期は所見欄の削減により作成事務に係る時間も減り、反対に3学期については作成事務が増えている。そのため、結果として実績値が悪化した。	来年度以降について、今年度の数値との比較により評価を行うが、アンケート調査の時期については統一していく必要がある。

基本方策8に対する点検評価員による評価

学校園の施設整備やICT環境の整備、学校給食環境の整備などについては、おおむね円滑に事業が実施されている。

各事業についての意見は、次のとおりである。

8-⑤校務の情報化推進事業については、現在の事業指標では、教職員の事務軽減の実績を数値として示すことができていないという課題が生じているため、来年度以降は、事務軽減の指標として他に適当なものがないか改めて検討していただきたい。

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供される必要があります。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^{①②}。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。

図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす^{③④⑤⑥⑦⑧}ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます。

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化^⑨や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します^⑩。

主要事業の状況

9-①	社会教育活動推進事業		担当課	教育政策課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	9,428
概要			実績			
<p>「人生100年時代」を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>◆家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、また、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。</p> <p>◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</p>			<p>令和2年度は、『つながる、気づく』を共通のテーマに設定し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期を避けながら、以下の事業を実施した。</p> <p>◆社会教育基礎講座は、「地域歴史講座 第1回 初歩の初歩 蹉跎の歴史」に25人（定員40人）、「もしものときのための応急手当講座」に16人（定員20人）の参加があった。</p> <p>◆家庭教育支援事業は、「子育て応援！親学び講座」（計2回実施し、1回は中止）に延べ122人（定員122人）、「親子でアート！ビーチグラスでモザイク画を作ろう！！」に12組34人（定員15組30人）の参加、「親子でマジシャンになろう！親子のコミュニケーションマジック講座！」に12組32人（定員15組30人）の参加、「スマホが思春期に与えるホンマでっか！な影響について」に9人（定員30人）の参加があった。</p> <p>◆社会教育人権啓発事業として、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」については、令和2年4月1日から6月30日、令和2年12月7日から令和3年2月28日は開催を中止。延べ開催日数は327日、学習者延べ1,284人が参加した。なお、中断期間においては、日本語による手紙を発送し、少しでも日本語に触れる機会の提供に努めた。</p>			
指標の説明			年度	H30年度	R 1年度	R 2年度
(実績値の内容) 社会教育活動推進事業の募集人数に対する参加人数の割合（参加人数／募集人数）			実績値 (%)	97.43 (682/700)	67.75 (334/493)	87.50 (238/272)
(目標値の根拠) 社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合が80%			目標値 (%)	80.00	80.00	80.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	121.79	84.69	109.38
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	109.38%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	↑
	関連計画	—				

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	92,043	
概要			実績			
<p>◆生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センターの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。</p>			<p>◆生涯学習事業の推進 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業はあるものの、感染対策の徹底を図り、自主事業や活動委員会事業を開催し、市民の生涯学習の機会を提供した。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 新型コロナウイルス感染症による影響で令和2年4月1日～6月14日、令和2年12月7日～令和3年2月28日の期間、施設の利用を中止した。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 令和3年1月に委員の改選を行い、同月第1回生涯学習推進審議会を開催し、生涯学習推進基本指針の進捗状況等について確認を行った。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 7月、11月、3月に美術施設運営委員協議会を開催し、市内の美術施設の美術事業の報告や運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいた。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 （「満足」「概ね満足」と回答した設問数／総設問数） ※総設問数＝ アンケート回答者数（271人） × 設問数（9問）		実績値 （%）	—	—	51.99 （1,268/2,439）	
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が8割		目標値 （%）	—	—	80.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 （%）	—	64.99	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	64.99%
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	—
	関連計画	—				

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	124,901	
概要			実績			
◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。			◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施している。 ◆図書館の蔵書となる図書を児童書15,814冊、一般書29,212冊、合計45,026冊購入した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 図書購入冊数		実績値 (冊)	38,093	38,244	45,026	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (冊)	36,644	37,130	37,569	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	103.95	103.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	119.84%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	達成継続 (↗)
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-④	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	73,909	
概要			実績			
◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館について、7月の開館に向け、建て替え中に引き上げていた図書館資料等の物品の搬入、新たな図書の購入、備品の整備等を行う。			◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館に、旧図書館時代に使用していた物品等に加え、新たに購入した書架等、物品を搬入し、整備したうえで、令和2年7月22日に再開館し、指定管理者による運営を開始し、本事業は完了した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 香里ヶ丘図書館建替事業期間（平成28年4月1日～令和2年3月31日）における、事業の進捗割合		実績値 (%)	75.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) 事業完了を100%とし、完了予定である令和元年度までの4年間で割った数値		目標値 (%)	75.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画			達成度の推移	達成継続 (→)
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン				

9-⑤	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,478	
概要			実績			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。			◆図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 分館・分室の巡回日数		実績値 (日)	499	499	502	
(目標値の根拠) 年度当初に予定していた年間巡回日数		目標値 (日)	500	499	502	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	99.80	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	100.00%
	市長公約	—			達成度の推移	達成継続 (→)
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

9-⑥	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	192,938	
概要			実績			
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。			◆開館日数：275日（予約図書受渡のみ実施日を含む） 貸出冊数（個人）：499,053冊 予約受付件数（個人）：63,074件 延べ利用者数：191,894人 ◆新型コロナウイルス感染症対策のため、4月9日から休館、5月20日から、予約本のみ受渡しサービスを開始し、6月1日から感染防止対策を実施し、再開館した。再度の感染拡大を受け、12月7日から予約本の受渡しのみのサービスに縮小し、1月14日からは通常どおり開館した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 市民一人あたりの枚方市内図書館での年間総貸出冊数		実績値 (冊/人)	8.45	8.33	6.68	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (冊/人)	8.65	8.47	8.44	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	97.68	98.34	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	79.15%
	市長公約	—			達成度の推移	↓
	実行計画	—				
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑦	香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	70,610
概要			実績			
◆若年・子育て世代を中心とする新たな定住を促し、持続可能な都市を目指すために、香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、老朽化した香里ヶ丘図書館を建替えるとともに、指定管理者制度のもと、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場と一体的な管理・運営を行う。			◆4月から、香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園を一体的に指定管理者（令和元年度選定）によって運営を開始した。 ◆7月22日に香里ヶ丘図書館を再開館した。 ◆新型コロナウイルス感染症対策のため、12月7日から予約本の受渡しサービスのみにも縮小した。1月14日から2月28日までは開館時間を短縮して開館、3月1日からは通常どおり開館した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 香里ヶ丘図書館の延べ利用者数		実績値 (人)	—	—	92,783	
(目標値の根拠) 建替え前の香里ヶ丘図書館の延利用者数（平成29年度実績）に開館時間延長分を加算した人数		目標値 (人)	—	—	126,000	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	73.64
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	73.64%
	市長公約	—			達成度の推移	—
	実行計画	—				
	関連計画	香里ヶ丘図書館建替え基本計画				

9-⑧	コンピュータシステム運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	28,936
概要			実績			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。			◆学校図書館教師用端末及び分館インターネット端末の更新を行った。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) インターネット予約件数		実績値 (件)	532,163	526,503	648,350	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (件)	570,425	551,985	518,753	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	93.29	95.38	124.98
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	124.98%
	市長公約	—			達成度の推移	↗
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

9-⑨	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当)
-----	-----------------------	-----	-------------------

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
② 生涯学習事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止又は延期となってしまったため、満足度が低下し、未達成となった。	実施できる事業形態を検討する。
⑥ 中央図書館運営事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、貸出冊数が想定よりも少なくなった。	図書館が臨時的に閉館してもサービスを継続できるよう、非来館型サービスである電子図書館の運営を行う。あわせて読書は、自宅で過ごすツールの一つでもあることから、図書館における感染症対策をしながらの市民サービスについて検討する。
⑦ 香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場運営事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、図書館利用者が想定よりも少なくなった。	図書館が臨時的に閉館してもサービスを継続できるよう、非来館型サービスである電子図書館の運営を行う。あわせて読書は、自宅で過ごすツールの一つでもあることから、図書館における感染症対策をしながらの市民サービスについて検討する。

基本方策9に対する点検評価員による評価

生涯学習の推進と図書館の充実においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業規模を縮小せざるを得ない事情があったと思われる。今後は、オンライン講座等を活用するなど、「新しい生活様式」に対応した生涯学習事業の在り方について検討し、市民のニーズに応えていただきたい。

各事業についての意見は、次のとおりである。

9-①社会教育活動推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、派遣型の家庭教育支援を行うなど取組みの手法を工夫することで、目標値を達成したことは評価できる。

9-②生涯学習事業については、事業が中止や延期となったことも影響していると考えられるが、アンケート調査による満足度が目標を大きく下回っているため、改善に努めていただきたい。

基本方策 10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します^{①②}。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます^{①③}。

また、文化財等の適切な保存を進める^{④⑤}とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^{⑥⑦}とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む^{⑧⑨}とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑩。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます^{⑩⑪⑫}。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します^{⑩⑫}。

主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業		担当課	文化生涯学習課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	28,231
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。 ◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施。 ◆文化芸術アドバイザーによるオープニング事業の実施や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。 ◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術振興審議会を令和2年11月に開催した。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大部分の事業が中止又は延期となる中で、小学校へのアウトリーチ事業を16校で実施した。 ◆文化芸術アドバイザーの提案事業については、辰巳満次郎氏の能楽講座と市川克明氏が音楽監督を務めるひらかたジュニア吹奏楽団を結成し、練習を実施した。 			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) 文化国際財団との共催又は委託事業及び文化生涯学習課主催事業の実施回数			実績値 (回)	—	—	41
(目標値の根拠) 市が文化国際財団との共催又は委託して実施した実施及び文化生涯学習課主催の令和2年度当初予定していた事業数			目標値 (回)	—	—	52
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	78.85
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	78.85%
	市長公約	—				
	実行計画	令和元年度当初実行計画			達成度の推移	—
	関連計画	—				

10-④	文化財保護管理事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	34,949
概要			実績			
<p>◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。</p> <p>◆特別史跡百濟寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。</p> <p>◆特別史跡百濟寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施</p> <p>◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。</p> <p>◆楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため施肥や除草、支障竹木の伐採を行い、保全管理する。</p>			<p>◆文化財用地の保護管理は、委託で草刈りを7月と11月に実施。</p> <p>◆特別史跡百濟寺跡から出土した金属製品保存科学処理を行った。バス専用駐車場の管理は、シルバー人材センターに委託した。</p> <p>◆府指定天然記念物枚方田中邸のむくについては、管理計画に基づき、土壌改良・定点観測を行うほか、令和3年2月に足場を組んで枯枝の剪定、ワイヤーの付け替え、幹の割れ目への防雨処理を実施し、草木の芽吹きが増える等、樹勢回復の効果が得られた。</p> <p>◆楠葉台場跡では、草刈り等の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理に努めた。</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
(実績値の内容) 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	100.00%		
	市長公約	—	達成度 の推移	達成継続 (→)		
	実行計画	—				
	関連計画	—				

10-⑤	市指定文化財補助事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	3,061
概要			実績			
<p>◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。</p>			<p>◆廃渚院観音寺鐘楼など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財、民俗文化財及び記念物11件の補助金を交付した。(交付額340,000円)</p>			
指標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
(実績値の内容) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数		実績値 (件)	17	14	14	
(目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数		目標値 (件)	13	14	14	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	130.77	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	100.00%		
	市長公約	—	達成度 の推移	達成継続 (→)		
	実行計画	—				
	関連計画	—				

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	68,058
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。 ◆再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度としていたが、令和5年度となる。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆東南角地の擁壁工事と東南院及び東北院の一部の造成等基盤工事を行い、当該箇所には排水等各種設備を配置し、遺構及び参道の表層舗装を実施した。 			
指標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
(実績値の内容) 当該年度の事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (→)
	関連計画	—				

10-⑦	市史編さん年報発行事務		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	9,379
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市史年報第23号を発刊した。 ◆マイクロフィルム紙焼製本を行った。 ◆市史関連歴史資料等の収集・整理・保存を順次実施した。 ◆市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に対応した。 			
指標の説明		年度	H30年度	R 1年度	R 2年度	
(実績値の内容) 市史関係の照会および市史資料の利用件数		実績値 (件)	230	372	219	
(目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値		目標値 (件)	315	315	317	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	73.02	118.10	69.09
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	69.09%
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	↓
	関連計画	—				

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	32,391
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により9月末までは、市主催・共催イベントが原則中止であったことから春季総合体育大会等各種競技大会や市内高校バレーボール大会は中止・延期とした。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、ラグビーカーニバルは当初の6月開催が延期となったが、感染症対策を行ったうえで、令和2年12月6日に開催した。 			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 各種大会等参加者数		実績値 (人)	22,094	22,560	5,800	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 (人)	24,918	24,918	24,918	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	88.67	90.54	23.28
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度	23.28%
	市長公約	—			達成度の推移	↓
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

10-⑨	スポーツ推進事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,403
概要			実績			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。			◆新型コロナウイルス感染症対策のため、指定管理者等と連携して、スポーツ施設の利用再開に向けた課題検討を行い、各施設において利用の際のルールを設定し再開したが、再度の緊急事態宣言発令にともない利用中止となる期間が発生した。 (3月7日～利用中止、7月1日～順次利用再開、12月7日～利用中止、3月1日～順次利用再開) ◆スポーツ推進計画の具体的施策を点検・評価する枚方市スポーツ推進審議会については、開催に向けて委員の改選等の手続きを行った。 (委嘱期間：令和2年6月20日から令和4年6月19日) 審議会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期した。			
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度
(実績値の内容) スポーツ活動者数 (競技大会等のスポーツイベントの参加者数及びスポーツ施設の利用者数)			実績値 (人)	1,150,649	1,102,369	582,169
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数			目標値 (人)	1,128,501	1,150,649	1,150,649
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	101.97	95.80	50.60
関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	達成度	50.60%		
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針	達成度の推移	↓		
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

10-⑩	総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	23,100	
概要			実績				
<p>◆子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。</p> <p>◆令和3年度においては、「総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）」を土曜日及び、三季休業期の実施で、小学校4校（直営2校、委託2校）に先行導入しており、その検証結果等を踏まえ、全小学校への平日を含む本格導入に向けた検討を行う。</p>			<p>◆夏季開催予定であったキッズクラブのモデル事業は新型コロナウイルス感染症に因る影響を受け中止とした。</p> <p>◆令和3年4月からの民間委託先行導入に向けて、9月に総合型放課後事業委託事業者選定審査会（以下、審査会とする）の設置を行い、9月～12月にかけて審査会を開催し、12月に委託予定事業者を決定した。委託契約は令和3年2月10日に締結し、令和3年2月～3月にかけて引継ぎ保育を実施した。</p> <p>◆10月15日から20日にかけて、先行導入対象校4校の保護者に対し説明会を実施した。また、令和3年1月に予定していた放課後子ども教室の登録説明会は、コロナ禍を受け中止し、これに代えて、全校児童に配布されているiPadによる動画配信とした。</p>				
指標の説明			年度	H30年度	R1年度	R2年度	
（実績値の内容） 放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度			実績値 (%)	—	—	モデル事業中止のため実績なし	
（目標値の根拠） 放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度。			目標値 (%)	—	—	80.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	モデル事業中止のため測定不能	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	評価不能			
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2・3年度市政運営方針					
	実行計画	平成30年度当初実行計画		達成度の推移	—		
	関連計画	—					

10-⑪	留守家庭児童会室運営事業		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	704,674
概要			実績			
◆民間活力の活用や適切な施設整備、学校の余裕教室の活用など、留守家庭児童会室事業の再構築に向けた検討を行う。			◆令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」に基づき、既存事業である「留守家庭児童会室」と新たに取り組む「放課後子ども教室」を核とした全児童対策事業「放課後キッズクラブ」に取り組み、令和3年度より、先行導入として山田小、さだ小、川越小、津田小において、運営を開始した。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 待機児童数(1月末時点)		実績値 (人)	0	0	0	
(目標値の根拠) 待機児童数		目標値 (人)	0	0	0	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移	達成継続 (→)
	関連計画	—				

10-⑫	枚方子どもいきいき広場補助事業		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 (千円) ※人件費を含む	21,150
概要			実績			
◆これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。			◆感染症拡大予防のため、いきいき広場事業の活動を6月まで休止、7月から開始したが、感染状況が拡大したため、8月から休止、10月から活動再開、12月から2月まで休止した。3月からは感染状況を注視し、感染拡大防止対策を十分に講じて、活動を実施した。 ◆いきいき広場事業の活動団体代表者会議を開催し、団体間で講師やプログラム案の情報交換の場を提供した。 ◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な活動ができなかったため、アンケート調査は未実施。			
指標の説明		年度	H30年度	R1年度	R2年度	
(実績値の内容) 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式: 満足度の高いアンケート回答者数 / アンケート回答者数)		実績値 (%)	—	—	アンケート調査 未実施のため 実績なし	
(目標値の根拠) 参加した子どもにおける事業の満足度		目標値 (%)	—	—	80.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	アンケート調査 未実施のため 測定不能
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	評価不能
	市長公約	—				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移	—
	関連計画	—				

未達成事業（達成度が80%未満の事業）への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
③	生涯学習事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止又は延期となってしまったため、満足度が低下し、未達成となった。	実施できる事業形態を検討する。
⑦	市史編さん年報発行事務	新型コロナウイルス感染症の影響により、中央図書館が閉館になったことから、問い合わせ件数が減少した。	来館者に対しては、新型コロナウイルス感染症感染防止を図りながら事業を継続するとともに、中央図書館閉館中は、電話・メールでの問い合わせをより一層活用してもらう。
⑧	各種スポーツ大会等開催事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となったため、目標達成には至らなかった。	各種ガイドラインを確認しながら、コロナ禍においても大会を開催できる方法を検討していく。
⑨	スポーツ推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、各スポーツ施設の利用中止や人数制限を行ったこと、スポーツに関するイベントの延期や中止が相次いだことなどの影響により、目標達成には至らなかった。	安心して施設を利用していただくため感染症対策を徹底するとともに、オンラインを活用したプログラムの更なる実施など、施設以外でもスポーツを行える機会の提供に努める。

基本方策10に対する点検評価員による評価

文化・芸術・歴史・スポーツに親しむことができる環境づくりに向けては、新型コロナウイルス感染症の影響により、達成度が低下した事業も見られるが、多くの文化財や施設を活用して、児童・生徒が文化やスポーツ等に親しむことができる取組みが推進できている。また、放課後に就学児童が健全かつ安全・安心に過ごせるよう事業運営に努めている状況が伺える。

各事業についての意見は、次のとおりである。

10-⑩総合型放課後事業については、それぞれ関連性の強い事業を一つにまとめることで、総合的に事業を実施していることは評価できるため、今後のモデルとなるような事業を引き続き展開していただきたい。

7. 枚方市教育委員会の令和2年度の活動の概要

枚方市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員により組織される合議制の執行機関であり、その権限に属する教育に関する事務を管理執行しています。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

【教育委員会の構成】

(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	奈良 渉	平成28年4月1日～令和4年3月31日	平成31年4月1日 再任
教育委員	谷元 紀之	平成28年9月27日～令和5年3月31日	平成31年4月1日 再任
教育委員	橋野 陽子	平成28年4月1日～令和6年3月31日	令和2年4月1日 再任
教育委員	近藤 孝	平成30年4月1日～令和4年3月31日	
教育委員	中西 悠子	令和3年4月1日～令和7年3月31日	

(1) 令和2年度教育委員会定例会・臨時会について

教育委員会の会議は、原則として毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。定例会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、枚方市教育委員会会議規則第2条第2項の規定により毎月1回開催する会議です。臨時会とは、同規則第2条第3項の規定により臨時に開催する会議です。

(2) 令和2年度教育委員会協議会について

教育委員会協議会は、枚方市教育委員会会議規則第18条の規定により、委員会の所管事項について、教育長から報告を受ける必要があると認めるとき、又は特定の事項について調査、研究等の必要があると認めるときに開催する会議です。

【令和2年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績及び協議会案件数】

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
令和2年第4回 定例会・協議会	令和2年4月27日	1	5	-	-	-	1	-	-	-	1	-
令和2年第5回 定例会・協議会	令和2年5月28日	1	5	3	-	-	1	-	-	1	5	6
令和2年第3回 臨時会	令和2年6月2日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
令和2年第6回 定例会・協議会	令和2年6月29日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	-
令和2年第7回 定例会・協議会	令和2年7月22日	1	5	5	-	-	1	-	-	-	6	3
令和2年第4回 臨時会	令和2年8月12日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
令和2年第8回 定例会・協議会	令和2年8月20日	1	5	5	-	-	1	-	-	-	6	3
令和2年第5回 臨時会	令和2年8月24日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
令和2年第6回 臨時会	令和2年8月26日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
令和2年第9回 定例会・協議会	令和2年9月25日	1	5	7	-	-	1	-	-	1	9	-
令和2年第10回 定例会・協議会	令和2年10月23日	1	5	-	-	-	1	-	-	-	1	1
令和2年第11回 定例会・協議会	令和2年11月20日	1	5	3	-	-	2	-	-	1	6	4
令和2年第12回 定例会・協議会	令和2年12月23日	1	5	4	-	-	-	-	-	1	5	-
令和3年第1回 定例会・協議会	令和3年1月20日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
協議会のみ	令和3年2月2日	1	5									1
令和3年第2回 定例会・協議会	令和3年2月12日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	8
令和2年第3回 定例会・協議会	令和3年3月17日 令和3年3月19日	2	5	13	-	-	-	-	-	-	13	2

(3) 令和2年度教育委員会の活動状況

	会議・行事等	出席回数		
		H30年度	R 1 年度	R 2 年度
①	学校関係（式典、行事等）	17回	21回	0回
②	学校関係（授業視察等）	21回	46回	16回
③	教育委員会関係（式典、会議、行事等）	67回	66回	135回
④	枚方市、市議会、各種団体関係（式典、会議、行事等）	34回	43回	83回
⑤	教育長協議会、会議研修等	29回	20回	14回
⑥	教育委員研修会等	7回	7回	0回
	合計	175回	203回	248回